

子育て学習講座【西条市】

～学校や地域とともに築く家庭教育～

◆活動の目的・理念

●小・中学生の保護者が参加する参観日や就学時検診時において、家庭教育に関する学習機会の提供を行うことにより、家庭教育の支援の充実を図る。

活動拠点	-	講座・学習 会開催数	51 回	相談対応 件数	- 件	訪問活動	- 件
広報活動	2 回	連携・協力 団体・機関	小学校25校、中学校10校、各小中学校PTA				
チーム スタッフ	地域コーディネーター 元教職員	名 名	子育てサポーター・リーダー PTA役員	名 名	民生委員・児童委員 保健師	名 名	
計 0 名	心理士・スクールカウンセラー	名	支援団体・NPO関係者	名	その他	名	

取組の概要

<主な取組内容>

- 小学校での就学時健診等を活用した子育て学習講座
 - ・就学前の子どもを持つ保護者を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 小学校での参観日等を活用した子育て学習講座
 - ・小学生の子どもを持つ保護者を対象とした講座
 - ・各小学校単位で実施
- 中学校での参観日等を活用した子育て学習講座
 - ・中学生の子どもを持つ保護者を対象とした講座
 - ・各中学校単位で実施



愛媛県警察による
「SNS利用に関するトラブルの実態」

保護者の感想

- ・「生きやすい人」中心の社会になっていないか考えさせられた。
(参観日「性の多様性から「じぶん」について考える」)
- ・これまで、自分の子どもを他の子と比べてしまうことがあったが、講師の方の話を聞いて、自分の子の良いところをどんどん褒めていこうと思いました。(参観日「大人の関り方で子どもは変わる」)
- ・食を通じて、少しずつ子どもたちに社会生活を教えれば良いと思いました。(就学時「知ってたべよう、食べて知ろう」)



東部ウイングサポートセンター講師による「大人の関り方で子どもは変わる」

<特色ある取組>

- オンライン講座
LINEみらい財団によるオンライン講座を開催しました。身近なSNSであるLINEの運営者による講座ということもあり、保護者の関心も高く、SNSやネットとの上手な付き合い方を学びました。
- 性の多様性から「じぶん」について考える
誰もが排除されない社会を目指して、性の多様性から「じぶん」について考える講座を開催しました。子どもたちが持つ性に対する意識や偏見、あたりまえやふつうとは何かについて考えました。



LINEみらい財団による「楽しいコミュニケーションを考えよう」

事業を実施して

【成果】

- オンライン講座は、コロナ禍でも専門的な知識を持つ講師を迎えることができるため、継続して実施していきたい。
- 現在は、スマホやネットの普及によって、気軽にSNSを利用できる環境にあるため、ネットトラブルの防止や子どもたちの自己肯定感を高める内容の講座が好評であった。

【課題】

- 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、保護者の参加人数が少なかった。子どもたちに寄り添うためにも、多くの保護者の参加を得て、一緒に考える場を作らなければならないと感じた。
- 保護者からの質問を受け付ける時間を十分に確保することができなかった。